

＜本年度クラブ会長方針＞

繋ごう『クラブの心』、  
築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F  
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)

世界に希望を生み出そう

## 第1911回例会

地域社会の経済発展月間

／米山月間

令和5年10月23日(火)

名古屋中・大須・栄RC合同

ガバナー公式訪問

於 名古屋観光ホテル

出席計算数

50名中31名出席

出席率 62%

前々回出席率 71%

1500%

### 例会プログラム

★ガバナー・地区幹事・地区スタッフ・パストガバナー紹介

★3RC会長・副会長・幹事紹介

★ガバナー公式訪問

### ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」

ソングリーダー

名古屋中RC 占部憲一



ガバナー・地区幹事・会長・幹事懇談会

### ニコボックス

酒井法丈ガバナー、杉浦敏夫地区幹事、松本章地区スタッフ、ようこそおいで下さいました。

丹下 富博・大上 晃延

堀江 英弥・木村 光徳

仲林 宏昌・飯田 昭夫

加藤巳千彦・岡村 隆徳

田崎 雅三・浅野 彰

川合 美幸

ガバナーようこそ。

点鐘(開会及び開会挨拶)

名古屋大須RC会長 丹下 富博

ガバナー・地区幹事・地区スタッフ・パストガバナー紹介(敬称略)

ガバナー 酒井 法丈

地区幹事 杉浦 敏夫

地区スタッフ 松本 章

パストガバナー 岡部 快圓

パストガバナー 笠橋 美久

3RC会長・副会長・幹事紹介(敬称略)

名古屋中RC 会長 杉浦 康晴

副会長 岡崎 亨

名古屋大須RC 会長 丹下 富博

副会長 岩崎 征一

名古屋栄RC 会長 大上 晃延

副会長 吉田 弘幸

幹事 小島 浩司

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

幹事 大上 晃延

### 会長挨拶

(敬称略)

名古屋中RC会長 杉浦 康晴

皆様こんにちは。本日は名古屋中・大須・栄RCの合同で、ガバナー公式訪問例会を行うことができ、心より嬉しく思っております。合同例会前に、酒井ガバナー・杉浦地区幹事・各RCの会長・幹事による懇談会を開催させていただきました。そこでは、ポリオ根絶・年次寄付・5月に開催されますRFF(ロータリー・フードフェスティバル/WFF)・各RCの地区補助金事業・地区および各クラブが抱えている問題についても話し合い、意見交換ができ、今後のクラブ運営の参考にさせていただきたいと思っております。

この後、酒井ガバナーには今年度Rのテーマや地区方針などをお話しいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

長いコロナ禍が過ぎ去り、アフターコロナで通常の生活に戻り、世の中はインバウンドも含め観光客が増え、行楽シーズンを迎えて賑やかになっております。ロータリー活動も同様で、先日もしじりに、名古屋RCを交え4RC合同例会が盛大に開催されました。

本日は、この合同でのガバナー公式訪問例会を通して、会員同士が交流を図り、これからのロータリー活動を活発に行っていくたいと思っております。

3RCの益々の発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

幹事報告

名古屋中RC 幹事 森田 乾嗣

名古屋大須RC 幹事 大上 晃延

名古屋栄RC 幹事 小島 浩司

ガバナー公式訪問

R1第760地区

ガバナー 酒井 法丈

皆さんこんにちは。今日は、R1会長のメッセージを地区の方針などを交えて、皆さんにお届けしたいと思っております。

今年のR1会長は、スコットランド出身のゴードン R. マッキナリー氏であります。「世界に希望を生み出そう」というテーマで今年





度スタートして、早5カ月弱進んでおります。会長はこのようなメッセージを届けるにあたり、会員一人一人が帰属意識とインクルージョンを浸透させている、させなければならぬ、といったことをおっしゃっています。

そして「幸せ・平和」という言葉をよく使われます。幸せとは、人に親切にしなければいけない、人に親切にすることが、幸せになる一番の方法ということですか。そして我々の奉仕プロジェクトは、積極的平和のための土壌づくりです。平和というものは夢ではない、また受身的なものでもありません。一人一人が努力をしなければ、平和を勝ち得ることはできない、黙っていても平和を享受できるものでない、ということです。

そして会員増強につながる話として「素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地の良い、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう」というメッセージがあります。

魅力的なクラブは居心地がいい、

居心地がいいから会員を維持することができ、入会候補者もロータリーに関心を持ってくれる。それぞれ考え方はあるかと思いますが、「魅力的なクラブ」というのが、一つのキーワードではないでしょうか。

我々の奉仕プロジェクトや例会もですが、ロータリーの活動というのは、帰属意識を高めることが大事です。会員一人一人が自分の所属しているクラブに自分の居場所があると思えるようなクラブであることが大事であり、そうであるかどうかは皆さん次第です。

地区内では、4年未満の会員の退会率が多いと聞きます。自分の居場所をつくれなかった、努力しなかったから退会になってしまったのではないのでしょうか。また、クラブがそのための導きをしなければ、退会を防止することはできません。

そして、会長は今年の重点事項として三つ挙げていらっしゃいます。

### Rの重点事項

#### ①ポリオプラスプログラム

#### ②メンタルヘルス

#### ③女兒のエンパワメント

ロータリーがもしポリオから手を引いてしまったら、10年後には年間20万人の子供がポリオに感染すると言われています。だから

世界に希望を生み出そう

### 重点事項

#### ポリオプラスプログラム

- ①天然痘に次ぐ史上2番目となる人類の疾病の根絶を目指している
- ②根絶活動を停止すると10年後には年20万人の子供がポリオに感染する恐れがある
- ③治療法はなくワクチンの予防のみが有効手段

#### メンタルヘルス

会員同士が互いに支え合うこと、メンタルヘルスのサービスを提唱すること、治療へのアクセスを拡大するためにこの分野の専門家と橋渡しをすることなど

#### 女兒のエンパワメント

- 本来持っている力を発揮できる環境を整え、自らの意思で行動できる社会を推し進める
- ①家族の健康が改善される
- ②女兒が教育を受けることにより、収入が増し、家族が貧困から脱却できる
- ③女性が男性と同じ就労率が働くならば、世界総生産の増加が見込まれる

止めることはできません。今後ポリオ根絶に深いご理解をいただきたいと思っています。

そしてメンタルヘルスは、会長自身の実弟が、自ら命を絶ったという背景があります。それによって、心のケアというのが大事ではないのかということでもあります。会員同士が互いに支え合うこと、またメンタルヘルスのサービスの提唱、この分野の専門家との橋渡しを挙げられています。

そして女兒のエンパワメントですが、グローバルな目標に立てば、まだまだ女兒が教育を受けられないという環境は、世界にはいくつもあります。女性が本来持っている力を発揮できる環境や、自らの意思で行動できる社会をつくる。それを実現することで、家族の健康が改善され、貧困からの脱却、世界の総生産の増加が見込まれます。

皆さんにお聞きしたいのですが、「世界に希望を生み出そう」という今年度のテーマの、希望とは何でしょうか。

「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す、そして希望は失望に終わることはない」という聖書からの言葉があるそうです。人というものは苦勞や困難に出会うと、我慢や忍耐を覚える。

そして我慢をして、苦難や困難に立ち向かっていけば、やがてそれが練達の域に達することができ、練達というのは、熟練だとか達人だとかという意味でありますが、突き進んでいくと熟練の域に達することできる、そして熟練して達人の境地に達した時にこそ、希望が見えてくる。

そして希望は失望に



変わらないということですか。我々が奉仕プロジェクトを一生懸命やったその先に、希望というものが現えてくるということですか。

ビジョン声明からDEEについて皆さんにロータリーについて整理をしていただきたく、問い掛けをさせていただきます。

①なぜロータリークラブに入会しましたか？

②ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？

③ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？

④なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？

⑤あなたのクラブを代表する活動は何ですか？

入会した動機は色々あると思います。そして会員とは地域社会の中で役に立てるよう、日々研鑽努力している人です。人間力を磨いている人の集団がロータリーです。人間力を磨いている人達が、研鑽を行う場として例会を開いているのです。だから例会は大事です。皆さんの理念や指針が違っていだら、例会を休んだり、退会ということになるかもしれません。しかし皆さんがこうして例会に参加し、会員を続けているのは、クラブの居心地が良いからではないでしょうか。

会員歴の長短に関わらず、我々がやってきたことを、お互い共有していくことがクラブを代表する活動につながるのではないのでしょうか。

ロータリーには「ビジョン声明」というものがあります。

「私たちロータリアンは世界で地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」

それを達成するための行動計画が四つ挙がっています。


- I. より大きなインパクトをもたらす
- II. 参加者の基礎を広げる
- III. 参加者の積極的なかわりを促す
- IV. 対応力を高める

このIからIVまでの行動計画は皆さんに問いかけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。Iは⑤に、IIは①②に、IIIは③に、IVは④につながります。

Iのインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。

IIの基礎を広げるにはつながりや機会が大事でしょう。IIIの積極的なかわりを促すためには、地域社会をよく知りましょう。IVの対応力を高めることによって、皆さん自身の職業やロータリーを持続可能な存在へと磨き上げるにつなぐことができます。

ロータリーは皆さんをあらゆる方向に持



世界に希望を生み出そう

**ビジョン達成のための行動計画（優先事項）**

⑤ あなたのクラブを代表する活動は何ですか？

より大きなインパクトをもたらす

地域社会や世界で変化をもたらすために、新たな方法を探りましょう

① なぜロータリークラブに入会しましたか？

② ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？

共有する人達が一緒に活動できるように、繋がりや機会をつくり出そう

③ ロータリークラブはどのような事を行っているのですか？

参加者の積極的なかわりを促す

地域社会のニーズを知り、応える活動を実行することを誓いましょう

④ なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？

対応力を高める

日常では得ることができない、価値観・事象に触れることによって、自らが職業やロータリーを持続可能な存在として磨き上げられます。

います。世代を超えて、親以上に歳の離れた会員同士が、どう関わりを持つていくのか、ということではないでしょうか。そして「インクルージョン」、あらゆる人が歓迎され、大切にされるクラブをつくりましょう、ということですね。感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望めます。

地区では、今年「フレンド、フレンド」という言葉を使わせていただきました。「親睦と奉仕」は我々のベースです。「親睦」とは、良質な言動に接して、自己改善を重ね、奉仕の心を醸成し、それを実践するよう自己研鑽するものです。「奉仕」とは、他者への働きかけであるように見えて、実は自分との闘いであり、結果として心の豊かさが与えられるものです。親睦からは自身の成長する機会を得て、奉仕からは心の豊かさを培うことができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。

ロータリーの会員でありさえすれば、自分が成長でき、心が豊かになる。そんな団体は他にありません。

自分自身が成長でき、心が豊かになる。そんな環境は他にありません。だから、フレンドが必要なのです。そして、ロータリーの会員であるフレンド、クラブに対して帰属意識をしっかりと持っている会員

が集まることで、クラブのブランド力が高まるのではないのでしょうか。これが、地区の方針として掲げさせていただいた背景です。

そして最後にお願いとあります。

- ① ロータリー財団への寄付
- ② 地区大会への参加

2023-24年度 国際ロータリー第2760地区

**地区大会のご案内**

大会第1日目  
2023年11月11日(土)  
会場：名古屋マリットアソシアホテル

大会第2日目  
2023年11月12日(日)  
会場：名古屋国際会議場  
Nagoya Congress Center

ホストクラブ 豊田東ロータリークラブ

- ③ RFF（ロータリー・フード・フェスティバル）への積極的な参加（チケット・企業協賛）

5月11日(土)・12日(日)

《コンセプト》

- ・ロータリーの多様性を象徴し、ロータリークラブの公共イメージを向上させる。

- ・ロータリーがポリオ根絶を最優先事項として活動を行っていることをRFFイベントを通じて広げるとともに、エンドポリオ寄付へのファンドレイジングを推進する。

- ・RFFイベントを通じてロータリー、ロータリーアクト、インターアクト、ローテックス、米山奨学生、学友が一堂に会して、ロータ

リーファミリーの帰属意識を高め、あらゆる面でインクルージョンを推進する。

④ 世界大会でのガバナーナイトへの参加

2024年5月25日(土)

「協力をお願いします。」

まとめとして、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」という言葉があるそうです。

「清聴ありがとうございます。」

謝辞及び点鐘（閉会）

名古屋RC会長 荒川 和生

酒井カバナー、今日は本当にお忙しい中、名古屋中・大須・栄合同例会、ガバナー公式訪問例会にお越しいただきまして誠にありがとうございました。

例會前から、会長・幹事懇談会において色々ご指導いただき、ガバナーのお言葉、RI会長の方針など、

わかりやすく説明いただきまして本当にありがとうございました。

ごさいました。





健康にご留意され、益々の活躍を祈念いたしております。  
本日は誠にありがとうございました。

## クラブ会食・幹事懇談会

同日11時30分より、3階「桃の間」にて、酒井法文カバナー、杉浦敏夫地区幹事をお迎えして、各クラブ会長・幹事出席のもと、懇談会が開かれました。



## その他・お知らせ

### 国際ロータリー・ニュース

2023年10月20日

## 世界各地のポリオ根絶活動

世界レベルでポリオ根絶活動が進展する中、世界各地のロータリー会員は、伝統的な方法やユニークな方法を駆使しながら、認識向上、ファンドレイジング、アドボカシーを行っています。ヨーロッパ、アフリカ、アジア、南北アメリカなど世界各地でロータリー会員は、ポリオのない世界を実現するために全力を尽くしています。

## ドイツ：ポリオ根絶の旅

トビリシ・アンバサダーRCC（ジョージア）の会員、バシヤール・アスフォーさんは、8月31日にベリンを出発し、フォルクスワー



世界各地のポリオ根絶活動

ゲンのワゴン車でヨーロッパを巡回しました。彼の目的は、ポリオ根絶への関心を高め、寄付を集め、新たなボランティアを募ることです。16カ国を巡り、38都市でミーティングを行った後、10月20日と21日にドイツのケムニッツで開催される世界ポリオデーのイベントで彼の旅は最高潮を迎えます。

## マダガスカル：認識向上のための都市ランニング

アンタナナリヴオ・マハシナRCCは、マダガスカル首都のクラブと結束し、第6回アーバントレイル・ランニングイベントを開催。アフリカの予防接種週間に合わせて実施されたこのイベントでは、7キロと14キロのコースに4,000人以上が参加しました。この活動は、UNICEF（国連児童基金）やWHO（世界保健機関）などと協力し、ポリオ・プラス・プログラムと予防接種の重要性に対する認識を高めることを目的として行われました。

## フランス：楽しさと目的を兼ね備えたティラノサウルス・レース

フレジユスで開催されたティラノサウルス・レースでは、参加者がティラノサウルスの着ぐるみを



着てレースを行い、ポリオ根絶への認識向上とファンドレイジングを行いました。第1730地区が主催するこのイベント

は、10月21・22日にフレジユス国際航空駅と並行して開催されます。ポリオのない世界を目指すロータリーの熱意を示し、この重要な目的のために人ひとの関心を集めるクリエイティブな方法です。

## コロンビア：愛の動物園

ロータリアンのソニア・ウリバさんとアルベルト・ロンドニョさんは、末期の疾病にかかっている子どもたちを慰めるために「エル・ズー・デル・アモール」（愛の動物園）を立ち上げました。

この活動では、キリンのアナやトラのルカスなどのぬいぐるみが、ロータリーのロゴ入りシャツを着て、子どもたちと遊びます。ロータリアンは、これらのキャラクターと世界各地を訪れ、子どもたちと写真を撮ることで笑顔と支援の輪を広げています。このプロジェクトで集まった約26万米ドルは、ポリオ根絶活動や7万6,000人以上の子どもたちへの予防接種に充てられ、子どもたちの命を守り、ポリオのない世界を築くた

めに使われます。

## フィリピン料理の「ニホーシェン」

複数のRCCがEnd Polio Nowキャンペーンのファンドレイジングを目的とした夕食会を開催しました。2日間にわたり、有名シェフがダバウェニヨ料理とイロゴン料理を振る舞い、参加者はポリオ根絶を支援するとともに、素晴らしい食事を楽しみました。クラブは、このイベントを再び開催することを予定すると同時に、ポリオ根絶活動を支援するほかの共同事業の可能性を模索しています。

## 日本：ポリオ根絶祈願の神輿



地域の絆を深める大切な伝統行事である親子三代夏祭り。コロナ禍を経て4年ぶりに開催された行事には大勢の人が押し

寄せ、第790地区は、END POLIO NOWのシャツと祭りの衣装を身にまとい、ポリオ根絶活動の啓発と達成を祈願する神輿を担いで市内を練り歩きました。厄除けや祈願成就のご利益があるとされる神輿を担ぐには、大勢で声を合わせて音頭を取る必要があります。

ます。神輿を担ぐ会員のパワーはポリオ根絶活動を力強く後押ししたに違いありません。

文： Eteka Lehoczy  
/Rotary International  
(国際ロータリーHead of 一部抜粋)

## 11月9日(木) 例会の案内

### 例会変更 \*大会1日目

11月11日(土)・12日(日)

地区大会【大会1日目】11日

於名古屋リッツアソシアルホテル

本会議

開会16時00分 閉会17時45分

(記念講演：田中作次氏)

12・13年度RI会長

開始17時00分 終了17時40分

地区大会【大会2日目】12日

於名古屋国際会議場

本会議前の部

開会11時00分 閉会12時20分

本会議後の部

開会13時20分 閉会16時30分

(記念講演：徳川家広氏)

開始14時45分 終了16時15分

11月16日(木) 例会の案内

R財団月間卓話

「財団をクラブ活性化に」

地区資金推進委員会

仲林 宏昌さん

公共イメージ向上委員会

近藤 明美・小澤 幸男

松本 哲朗・桑山 光俊

\*本文は、原則 頂いた  
原稿を転載しています。